

8/8 赤旗

# 戦争法案反対「私も声上げたい」

## 大分大学教職員有志 廃案声明

大分大学の教職員有志が呼びかけた緊急の集会「安保法案を考えろ@cafe」が6日、大分市の巨野原（だんのはる）キャンパスで開かれ、教員、教員OB、学生ら60人が参加しました。集会

では教職員有志の名で「平和、自由、民主主義を擁護する私たちは安保関連法案の廃案を求めろ」とする声明を發表しました。

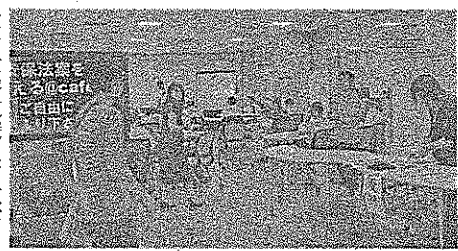
青野篤准教授（憲法学）、二宮孝富名誉教授（民法）らが講演し、連憲の戦争法案を強行する安倍政権を批判。青野氏は「自衛を名目に

先制攻撃を積極的に仕掛ける権利、すなわち売られてもいないケンカを買って権利を法的に正当化しようとするのが集団的自衛権の本質だと指摘しました。

集会を準備した垣田裕介准教授（社会福祉学）が声明について「誰にでも理解できる、おそろしく日本で一

番短い声明文だ」と紹介。「主権者は僕ら国民であり、憲法違反の法案も、それを押し通そうとする内閣も決して認めないという意思を共有したい」とのべ、賛同を呼びかけました。

大分大学教職員有志が呼びかけた戦争法案反対集会11日、大分市



大分大学教職員有志が呼びかけた戦争法案反対集会11日、JR横浜駅前



人（ともに21）は「同世代のSEALDSの活動に共感し、注目しています」「若者、子ども、弱者の命を犠牲にする戦争は絶対反対。私も声を上げたい」と語りました。

神奈川労連は6日、横浜市のJR横浜駅前で戦争法案反対の宣伝に取り組みました。宣伝は毎週木曜日を定例とし、今回が2度目です。

## 署名次々

参加者はマイクで「署名が大きな力になります」などと訴えています。

日弁連の署名を集めました。通行人が続々と足を止め「国民の声に耳を傾けないのは民主主義と言えるのか。何もできないけど、絶対止めたたい」（藤沢市の50代女性）など憤りを語りました。

「戦争は絶対反対」と力強く署名した大島紬（つむぎ）の伝統工芸士・南愛子さん（66）は、鹿児島県の奄美大島から出張中です。「（法案廃案のため）全国で行動しないといけない。地元で行動がなかったら、先頭を切っちゃりたい」と話しました。若い人も大勢署名し

ました。男子大学生（22）は「横浜市の鶴見区は、40代になったとき、戦争に行くと考えたと反対です。安倍政権は国民の意見を反映していない。やりすぎです」と語りました。

高校1年と中学3年の姉妹2人が都筑区は「戦争が起きたらいいのよ」「今までそのまま（法案成立を）やらなきゃいけないの」と怒り、安倍自公政権に対しては「権力を使って無理やりやるのはよくない」と批判しました。